

# p値ハッキング

p値ハッキングの種類	内容
overhacking	低いp値を出そうと調整し続ける操作
selection bias	何種類か方法を変えたり、違う変数を分析したりして異なるp値を得て、一番低い値を選択する操作
selective debugging	より有意な結果が出るようにバグを選んで修正して、有意性が求める水準に達したところでバグ探しを終了する

	帰無仮説が正しい	対立仮説が正しい
帰無仮説を棄却しない	OK	第二種の過誤 (確率 $\beta$ )
帰無仮説を棄却する	第一種の過誤 (確率 $\alpha$ )	OK

有意差があるように判定

第1種の過誤発生確率 =  $1 - 0.95^n$

